千葉市幼稚園協会会報

Vol.151 2026.10

ともだちの和

TOMODACHINOWA



泉幼稚園



認定こども園　のぞみ幼稚園



やまびこ幼稚園



聖母マリア幼稚園

Contents

P02 巻頭言　千葉市幼稚園協会　会長　小川 赳広
P03 特集　「訓練する防災」から「日常のなかにある防災」へ
(株)ニシハタシステム 専務取締役
一般社団法人日本保育防災協会 代表理事　西畑 進太郎
P04 令和8年度　創立園表彰・永年勤続者表彰式
P06 幼稚園&こども園フェア2026
P08 千葉市幼稚園協会主催 研修会
P10 保育室の窓から
P11 職員の異動・千葉市幼稚園協会からお知らせ、編集後記
P12 千葉市幼稚園協会加盟園・特別会員・賛助会員紹介

千葉開府900年
900th CHIBA CITY
千の葉に　時を刻んで　900年

発行／公益社団法人千葉市幼稚園協会　発行者／小川 赳広　編集者／千葉市幼稚園協会広報委員会　TEL:043-202-5005

巻頭言「エビデンスに基づく幼児教育の重要性を考える」



千葉市幼稚園協会 会長
小川　赳広

この度、協会長を拝命いたしました。歴代会長をはじめ、これまで本会を支えてこられた皆様方のご尽力に深く敬意を表するとともに、その重責に身の引き締まる思いでございます。

先日出席いたしました「政令指定都市私立幼稚園団体協議会大阪大会」では、経済学者の中室牧子先生より、我が国の幼児教育政策における懸念点や課題についてご講演をいただきました。そこでは主に、以下の4つの視点が示されました。

1つ目は、教育業界においては重要な政策決定の場であっても個人の体験談や経験に基づいた議論が多く、エビデンス（科学的根拠）に基づかない政策形成が行われていること。

2つ目は、幼児教育分野における我が国の公的支出が極めて低いこと。幼児教育への公的支出は、最新のデータでもOECD諸国平均の半分以下と極めて低い状況にあるとのことです。

3つ目は、2019年に実施された幼児教育・保育の無償化が、必ずしも最適な政策対応ではなかった可能性があること。カナダのケベック州の事例では、幼児教育の質の低下によって非認知能力や健康、犯罪関与などでマイナスの影響が出たことが報告されているそうです。中室先生ご自身も、幼児教育の重要性を訴えつつも、無償化という政策手法に対しては懸念を表明されています。

4つ目は、幼児教育の重要性に関する認識が、教育現場においていまだに低いこと。保育士、幼稚園教諭、小学校教諭に対するアンケート調査などからも、幼少期の重要性が十分に認識されていない傾向が見られるようです。

そして最もハードルの高い課題は、幼児教育が無償化されたなかで、いかにして教育の質を上げていくかと話されていました。

しかし、私たち幼児教育の現場は、子ども・子育て支援新制度の導入、幼児教育の無償化、新型コロナウイルスへの対応など、近年の激しい社会変化を一つひとつ乗り越えてまいりました。これは各園が築いてきた歴史を重んじ、幼児教育の多様性を守り発展させようと尽力されてきた現場の先生方、園長先生、理事長先生が積み上げてこられた努力の賜物と言えます。

こども家庭庁の設立やデジタル・AI技術の進化など、幼児期の教育環境の変化は加速度的に速まっています。しかし「誰のための幼稚園であり続けるべきか」という問いに対する答えは、今も昔も変わらないでしょう。

本年、千葉市は千葉開府900年という大きな歴史の節目を迎えました。千葉の街が長い歴史の中で先人に学び、変化に対応しながら政令指定都市となり、その後も都市として進化してきたように、私たちも千葉市の幼児教育を発展させてきた先人たちに思いをはせつつ、科学的根拠という新たな視点を取り入れ、さらなる深化を目指すきっかけとなることを願います。

特集　「訓練する防災」から「日常のなかにある防災」へ



株式会社ニシハタシステム 専務取締役
一般社団法人日本保育防災協会 代表理事
西畑 進太郎



防災というと、避難訓練や非常食の備蓄を思い浮かべる方が多いのではないでしょうか。もちろん、どちらも大切です。しかし、子どもたちを本当に守るためには、防災を「年に数回行う特別なもの」ではなく、毎日の園生活のなかで考えることが重要です。

災害は、訓練のように時間や場所、天候を選んで起きてはくれません。保育室にいるときだけでなく、園庭で遊んでいるとき、登降園の時間、行事の最中、通園バスで移動しているときかもしれません。晴れているとも限りません。

だからこそ、普段の園生活を少しだけ「防災の目」で見直してみることが大切です。

例えば園内では「地震が起きたら、この棚は倒れないか」「ここに物が落ちてこないか」「この場所から安全に避難できるか」と考えてみる。園庭や門、塀、遊具の周辺なども、災害時には普段とは違った危険が生まれる可能性があります。

園外を移動する場面でも、防災の視点はあります。普段通る道に倒れそうな塀や看板はないか、大雨で水がたまりやすい場所はないか、いつもの道が通れない場合に別のルートを選べるか。通園バスであれば、運行中に災害が起きたとき、どこで安全を確保し、園や保護者とどう連絡を取るのかまで考えておくことが必要です。

避難訓練も「予定どおり避難できたから成功」で終わらせないことが大切です。「もし雨の日だったら？」「担任の先生が近くにいなかったら？」「いつもの避難経路が使えなかったら？」と条件を変えてみる。実際に雨天時に動いてみると、足元が滑りやすい、傘や雨具で動きにくい、声が届きにくいなど、晴天時には気づかなかった課題が見えてきます。

そして、子どもを守るためには、まず先生や保護者など周囲の大人が自分自身の安全を確保することも欠かせません。大人が無事で、落ち着いて判断できてこそ、子どもを安全な場所へ導くことができます。

家庭でも、園の避難先や引き渡し方法、連絡手段を確認してみてください。災害時には電話やインターネットが普段どおり使えるとは限りません。「迎えに行けないときはどうするか」「家族とはどこで合流するか」まで話し合っておくことが安心につながります。

防災は、特別なことを増やすことではありません。いつもの園生活、いつもの道、いつもの家庭生活を「もし今、災害が起きたら？」という視点で見てみる。その小さな積み重ねが、いざというときに子どもたちを守る大きな力になると私たちは考えています。

災害が晴れた日に起こるとは限りません。雨天時にも実際に動いてみることで、足元の安全や移動のしやすさ、職員同士の連携など、晴天時には気づかなかった課題が見えてきます。



雨天時を想定した訓練の様子

普段通る道も「防災の目」で見直してみると、塀や電柱、道路状況など、災害時に確認しておきたいポイントが見えてきます。



避難訓練で園外を移動する子どもたち

令和8年度 創立園表彰・永年勤続者表彰式

創立園表彰・役員表彰・永年勤続者表彰式を終えて

このたび、令和8年度千葉市幼稚園教育大会において表彰式が厳粛に執り行われ、創立の節目を迎えられた園、ならびに永年にわたり幼児教育の振興と発展に尽力してこられた先生方が顕彰されました。式に臨み、受彰された皆様のご功績の重みと、その歩みの尊さに深く心を打たれました。

今年度は、創立60周年、45周年、30周年を迎えられた園への表彰をはじめ、役員表彰、永年勤続者表彰が行われました。長きにわたり各園の歴史を築き、地域に根ざした教育を実践してこられた諸園の歩み、また、日々子どもたち一人ひとりに真摯に寄り添い、その成長を支えてこられた先生方のご尽力は、まことに尊いものであります。受彰者の皆様のお姿は、幼児教育がたゆまぬ努力と深い愛情の積み重ねによって支えられていることを、あらためて私どもに示してくださいました。

また、式中に行われた寄贈絵本目録の贈呈、来賓の皆様からのご祝辞、受賞者代表による謝辞の一つひとつからも、多くの方々の思いに支えられて今日の幼児教育が成り立っていることを強く感じました。会場には終始、受彰者への敬意と祝意、そして教育に携わる者同士の深い共感が満ちておりました。

社会環境が大きく変化するなかにあっても、子どもたちの健やかな育ちを願う思いと、教育の本質を大切にする姿勢は変わることのない価値であると存じます。先達の皆様が築いてこられた歩みに敬意を表するとともに、その志をしっかりと受け継ぎ、次代へとつないでいくことの大切さを、今回の表彰式を通してあらためて胸に刻みました。

結びに、受彰されました皆様に心よりお祝いを申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。私どももまた、千葉市の幼児教育のさらなる振興のため、力を尽くしてまいりたいと存じます。

幼保連携型認定こども園しらぎく
振興副委員長　鳰川 泰也



会長挨拶



役員表彰



永年勤続表彰者代表謝辞



絵本寄贈

園表彰 60年

認定こども園　園生幼稚園

髙松　享子

60周年を迎えるまでに社会や家庭を取り巻く環境も大きく変わり、2歳・満3歳児保育や附属保育園の開園等、保育や教育の形を少しずつ変えてきました。しかし「こども第一主義」でこどもたちが自ら学び、発見し、楽しむことを大切にする思いや、日常を極めてこそ非日常を心から楽しむことができるように常に園児と関わることなどは変わることなく受け継がれています。そして、卒園児たちが保護者となり我が子を託してくださる姿に出会うことができるたびに時の流れの早さに驚くとともに、たくさんの人の心の中につながっていることを実感します。これからも園児の心に温かく残り、卒園児の「心の基地」であり続けられるよう次の時代へ歩みをつないでいきたいと思います。

永年勤続 50年

若松台幼稚園

山口　栄子

半世紀の歩みを終えた今

多くの人に支えられ、あっという間の50年でした。「五つ教えて三つ褒め一つ叱って良い子にせよ」との教えを守り、駆け足でここまでやってきました。たくさんの失敗もしてきました。「何であのとき、何でもっとやれなかったんだろう」と思うこともありました。今、自分に与えられている仕事を一生懸命頑張り、いつか人生のエンジンが切れる日まで健康で走れるうちはギアを入れ続けていきたいです。今まで、自分に関わっていただいた方々に感謝です。本当にありがとうございました。チーム若松台で前進していきたいです。

永年勤続 40年

花園幼稚園

加藤　美智子

この度は、永年勤続表彰をいただきありがとうございました。

初めて担任として子どもたちの前に立ってからの40年間は、あっという間にも長かったようにも感じます。個性豊かな子どもたちとの日々は楽しく、子どもたちの笑顔を見ていられれば、辛いことがあっても頑張って乗り越えられた気がします。卒園生や保護者の方々との交流は今でも心の支えになっています。たくさんのご縁をいただいた日々に感謝しながら、これからもどこかで子どもたちと関わり続けていけたらと思っています。

永年勤続 30年

九重幼稚園

伊藤　徳久

この度は30年永年勤続表彰をいただき感謝するとともに身の引き締まる思いであります。特に経営委員会のメンバーを中心とする諸先輩、仲間の存在の大きさに心より感謝申し上げます。31年前、(株)日本エアシステムを退職するとき、上司から「これからの少子化時代に幼稚園経営なんて大丈夫か？」と心配されたのを思い出します。現在は新制度に移行しなくて大丈夫か？です。中央区を代表する私学助成幼稚園としてもう少し頑張ろうと存じますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

永年勤続 20年

磯辺白百合幼稚園

廣瀬　敦子

この度は永年勤続の表彰をいただきまして、誠にありがとうございました。社会人として幼稚園教諭になり7年間、そして子育てを終えて再び千葉市で仕事復帰をして13年が経ちました。若い頃は先輩方に支えられ、忙しくも楽しい毎日に保育のやりがいを見い出しました。また年齢を重ねた今日も、職場の若い先生方の頑張りに助けられながら、自分自身を鼓舞する日々を送っております。無邪気で一生懸命なかわいい子どもたちは宝です。保護者の皆さまのご理解と温かなご協力に感謝しながら、子どもたちの笑顔と健やかなる成長をこれからも見守ってまいります。

永年勤続 10年

認定こども園　あすみ中央幼稚園

斎藤　麻里

この度は、永年勤続10年の表彰をいただき、誠にありがとうございました。私は小さい頃から幼稚園教諭になりたい、海外で生活してみたいという2つの夢があり、これまで3か国の教育現場に携わって参りました。どの国でも共通していたこと、それは『子どもの幸せは保育者の幸せ』ということでした。そして、人目を気にしやすい私ですが『みんなちがってみんないい』と個性を認め合うことの大切さを、子どもたちが教えてくれました。その時々で悩むこと、立ち止まりたくなることもありましたが、これまで支えてくださった皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。今後も未来ある子どもたちに、自分は何ができるのかを考えながら保育を楽しんでいけたらと思います。

令和8年度 創立60年園表彰園

- 認定こども園　小ばと幼稚園
- 泉幼稚園
- こまどり幼稚園
- 認定こども園　都幼稚園
- 認定こども園　園生幼稚園

令和8年度 創立45年園表彰園

- 院内幼稚園
- めぐみ幼稚園

令和8年度 創立30年園表彰園

- 認定こども園　あすみ中央幼稚園

令和8年度 役員表彰

22年	岸　憲秀	羔幼稚園
16年	勝田　信一郎	ひばり幼稚園

令和8年度 永年勤続者表彰

50年	田中　信行	若松台幼稚園
	山口　栄子	若松台幼稚園
40年	加藤　美智子	花園幼稚園
30年	新城　優子	愛隣幼稚園
	伊藤　徳久	九重幼稚園
20年	木屋尾　実季	(認)梅乃園幼稚園
	市川　舞実	(認)梅乃園幼稚園
	森　綾子	(認)梅乃園幼稚園
	海宝　亜葵子	(認)梅乃園幼稚園
	友寄　華織	(認)小ばと幼稚園
	浦山　聡子	由田学園千葉幼稚園
20年	浅里　恵	千城東幼稚園
	木村　千恵	千城東幼稚園
	田中　信成	若松台幼稚園
	戸村　麻美	若松台幼稚園
	廣瀬　敦子	磯辺白百合幼稚園
10年	今関　梓	(認)はまの幼稚園
	齋藤　将大	(認)はまの幼稚園
	釼谷　若奈	(認)松ヶ丘幼稚園
	松井　清夏	(認)松ヶ丘幼稚園
	藤田　ゆきな	(認)梅乃園幼稚園
	齋藤　聖	こまどり幼稚園
	竹内　窓花	(認)園生幼稚園
	入澤　久穂	(認)のぞみ幼稚園
10年	佐々木　綾	(認)子鹿幼稚園
	小川　麻衣	(認)土気中央幼稚園
	山口　えりか	(認)土気中央幼稚園
	原田　理奈	千城東幼稚園
	桐生　夏樹	こざくら第二幼稚園
	河路　舞	ひばり幼稚園
	髙山　祐衣	若松台幼稚園
	天野　愛躍	(認)みつわ台幼稚園
	渡辺　彩音	院内幼稚園
	伊藤　巳貴	院内幼稚園
	斎藤　麻里	(認)あすみ中央幼稚園

幼稚園＆こども園フェア2026

令和8年7月26日（日）　会場:イオンモール幕張新都心

幼稚園＆こども園フェアとは？

幼稚園＆こども園フェアは、千葉市内にある園の魅力を多くの皆さまに知っていただくため、イオンモール幕張新都心に会場をお借りして開催しました。会場内には園の先生方と直接お話しいただけるブースを設け、入園希望の方や就職希望の方が熱心に質問される姿が多く見受けられました。

また、１階グランドコートでは「ノンタンのハッピーコンサート」を開催し、たくさんのお子さまに楽しんでいただきました。本年度は那須副市長よりご挨拶を頂戴し、フェア会場もご覧いただきました。

イオンモール幕張新都心での開催は今回で4回目となり、これまで以上に多くの方にご来場いただきました。当日は、園説明や運営のお手伝いの先生方に加え、市内の大学・短大からボランティアの学生さんにもご参加いただきました。 ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

認定こども園　みつわ台幼稚園
幼稚園＆こども園フェア実行委員長
福地　綾

今年度の取り組み

今年度も「イオンホール」と「グランドコート」の2つの会場で開催し、幼稚園やこども園の入園を希望される保護者の皆様に園の魅力を紹介しました。

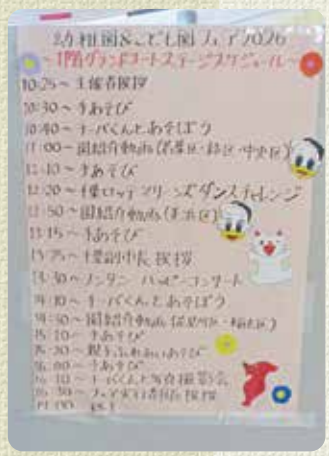
また、保育者を目指す方に千葉市内の幼稚園やこども園を知っていただくため、昨年度から取り組み始めた「ミニ就職フェア」もあわせて実施しました！

イオンホールでは…

会場では「園説明・ポスター展示」と「ミニ就職フェア」を開催しました。市内の幼稚園や認定こども園の紹介ポスターが多くの来場者の目を引き、熱心に見入る姿が見られました。また、ミニ就職フェアにも多くの学生が訪れ、真剣に園担当者からの説明を聞くなど、活気に満ちた空間となりました。

好評だった託児コーナーは50人ほどの利用があり、保護者の方々が安心して各園の情報収集や就職相談を行うことができ、「開催して本当に良かった」と実感する意義深いものとなりました。会場では多くの方にアンケートのご協力をいただき、感謝の気持ちを込めて絵本やおもちゃなどのお土産コーナーで素敵なプレゼントをお渡ししました。

開始から終了まで絶えず来場者があり、今年度も大盛況のうちに幕を閉じました。









園紹介ポスターコーナー





幼稚園・こども園とはコーナー



園説明・ミニ就職フェア

グランドコートでは…

30園分の制服や園で使用する道具類を展示したほか、子どもたちが楽しめる製作あそびやゲームコーナーを設けました。

ステージではさまざまなイベントを行いました。ノンタンのハッピーコンサートや千葉ロッテマリーンズのダンスチャレンジがありました。３回もステージに登場してくれたチーバくんは、千葉県について教えてくれたり「夢見るチーバくん」のダンスをしたり、撮影会をしたりと大活躍でした。また、先生方と一緒に手あそびや親子触れ合いあそびの時間も設けました。ステージ上の大画面では、千葉市幼稚園協会加盟園の園紹介動画を放映しました。ステージでのパフォーマンスに子どもたちは大喜びで手拍子や歓声を送り、製作あそびにも夢中になって取り組むなど、笑顔あふれる楽しい場となりました。


那須副市長挨拶


先生と手あそび


親子触れ合いあそび


製作あそび


チーバくんとあそぼう


チーバくんと撮影会


制服展示


道具類展示



千葉ロッテマリーンズ　ダンスチャレンジ


ノンタンのハッピーコンサート　スペシャルステージ

開催を終えて

昨年度の1,200人を大きく上回り1,500人程の来場者数となり、大変賑やかに大盛況で終えることができました。本フェアは8回目の開催となり、イオンモール幕張新都心での開催は4年連続となりました。改めて、開催場所を提供してくださったイオンモール幕張新都心様に感謝申し上げます。昨年度から開始したミニ就職フェアは来場者が大幅に増えました。実行委員一同、反省を活かしながらさらに多くの方にご満足いただけるよう、また、有意義なフェアになることを願い、企画・準備を進めてまいりました。

フェアを開催したことで入園前の検討に役立てていただいたり、幼児教育について関心を高めていただけましたら幸いです。今後の開催に向けて、より良いフェアとなるよう改善点を出し合い、実行委員一同邁進してまいります。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。


幼稚園＆こども園フェア実行委員一同

千葉市幼稚園協会 研修会

特別支援教育研修会　「子どもの今を支え、未来を支える」

愛隣幼稚園　鈴木　由歌

第1回は千葉大学の冨田久枝先生から「発語のない子に出会ったとき」というテーマでご講義いただきました。“発語がない”という視点から考えられるさまざまな障害を知り、実態を多面的に明らかにするための情報収集（アセスメント）を行い、子どもを根源的に理解することから支援につなげる重要性を学びました。

第2回は千葉市大宮学園児童発達支援センターの加瀬幹生センター長から「保護者理解～療育の窓口から～」と題して、“児童発達支援センター”の担う中核機能の説明と、保護者対応で心掛ける日頃からの信頼関係の構築と共に考える伴走者としての姿勢についてお話いただきました。

第3回は、NPO法人コドモノトナリ片岡恵美子代表理事より「子どもの居場所～幼児期の先にあること～」をテーマに、就学後の子どもたちのリアルな実態、乳幼児期に育む「生きる力の根っこ」、無条件に愛されて育つこと、居場所になることなどお話を伺い、子どもの今と未来を考える時間となりました。



子どもたちの未来も視野に

年少担任研修会　「実技中心となった研修会でした」

スガハラ幼稚園　野崎　奈々子

6月10日（水）は、「幼児教育における絵本と音楽の在り方」と題し『One step音楽スタジオ』田中遥先生の生演奏付き大型絵本を使った参加型の音楽会にリズム遊びやボディパーカッション、小物楽器を音楽に合わせて鳴らすなど、楽しく参加させていただきました。

7月23日（木）は「絵の具を使った表現」と題し『（株）アニマーレ』の鈴木よしみつ先生に絵の具を実際に使いながら数種の技法を教えていただきました。また、それらの技法で各自作品を作り上げ、最後は作品に題名を付けて展覧会をしました。

7月24日（金）は、「歌って動いて楽しい音遊び」と題し野村浩恵先生と共に楽しい実技研修となりました。いつもなんとなく歌っていた歌がイメージが膨らむような言葉掛けやピアノ伴奏の演出により、数段楽しめるようになりました。また、すぐに実践できそうなピアノ伴奏のコツもたくさん教えていただきました。実技中心の研修となり、先生方の真剣なまなざしと笑顔がたくさん見られた年少分科会でした。


絵の具を使って思い思いに表現を楽しみました

年中担任研修会　「年中分科会を振り返って」

加曽利幼稚園　宮崎　貴之

第1回目は、6月10日（水）に千葉明徳短期大学の大澤ちづる先生の「オルフ楽器を使ったリズム遊び」を研修いたしました。音楽を通じて、自分や周りのことを知り、自分を育て自分の生き方を見つける教育理念の一端を研修いたしました。

第2回目は、7月23日（木）に加曽利幼稚園でバディースポーツクラブの平本裕人先生のなわとびの指導法及び運動ゲームについて、研修いたしました。楽しめる雰囲気づくりや安心して活動できる環境づくりについて、学ぶことができました。

第3回目は、7月24日（金）に千葉文化幼稚園で幼児食育研究家の永原味佳先生による幼児期の本来するべき食育について研修いたしました。食育は、知・徳・体よりも重要で、命に直結する大切なことであることを学ばせていただきました。


年中分科会の
なわとび指導法の研修

年長担任研修会　「年長分科会研修を振り返って」

認定こども園　山王幼稚園　関原　喜恵

第1回目は今年度も「日々の保育を振り返って…」をテーマにグループディスカッションです。困っている事・悩んでいる事・疑問点・園の環境や保育方針など様々な意見が積極的に話し合われました。いくつかの疑問や悩みは次回の研修でアドバイスをいただく形で計画しました。

第2回目は、助産師　川島広江先生に「小さい頃から育む豊かなセクシュアリティ～国際基準を概観しながら～」をテーマに話していただきました。豊かなセクシュアリティの条件は

・自分の心身を大切にできる
・相手の心身を大切にできる
・豊かなコミュニケーションができる
・自己肯定感を高める

ことだそうです。日々の生活のなかで（保育のなかで）大切に考えていきたいと思いました。

第3回目は、子ども安全共育事業部　渡辺直史先生に「重大事故防止～安全と豊かな体験を両立させるには～」をテーマに日々の保育における事故防止対策について伺いました。保育者の過失を小さくするには、見逃さずに気づくこと、一人では見落としがあるためリスクを共有し合うことが重要だと話されていました。

それぞれの研修が明日からの保育に役立ち、有意義な学びの時間になりました。


講師　川島広江先生
小さい頃から育む豊かなセクシュアリティ

教務・主任研修会

「教務・主任分科会研修会を振り返って」千葉女子専門学校附属聖こども園　日暮　さつき

6月の研修は明徳幼稚園の自然環境リーダーの舘野正先生と多種多様な草花で彩られた明徳幼稚園の園庭を散策しました。子どもと自然をつなぐ頑張らない自然体験のすすめかたを教えていただき、私たちも「身近な自然」の小さな変化に気付くことの大切さを改めて感じさせられた会でした。

7月は児童相談所の桐谷真佐子所長から児相の現状と課題をお話しいただき、子どもの虐待件数は増加傾向にあり、関係機関との連携をとり、早急な対応を行う必要性を再確認しました。児相のお話を受け、その受け皿でもある児童養護施設の主任児童相談員の杉下雅雄先生に施設の今を伺い、施設に入所している子どもたちのケースは虐待のなかでも最重度のケースであることを知りました。施設も関係機関（園も含む）の理解と協力、連携が必要であるとのこと。私たちも子どもの小さな変化を見過ごさず、各関係機関と連携をとり「子ども・保護者の安全を守る」ことにつなげていきたいと強く感じる研修でした。



講師　舘野正先生

研究部会

「ごっこ遊びの探究」

めぐみ幼稚園　小谷　智恵子

今年度の研究部会は「ごっこ遊びを考える」というテーマで、敬愛短期大学の神永直美先生に年間を通して講師をお願いしました。グループでの話し合いでは、自身の子どもの頃のことや、自園の保育を振り返り、悩みを付箋に書き出して課題を共有したり、写真を持ち寄ってお互いにヒントをもらったりと、とても充実した研修となりました。

子どもの声をきっかけに“ごっこ遊び”に発展し、保育者はそこから「ねらい」や「意図」をもってかかわり「準備」をすることが大切であると教わりました。また、環境設定によって2歳児でも主体的に遊べることも学び、参加した先生方は、早速自園でもやってみようと、ワクワクしていました。10月の研修会でそれぞれの成果を報告し合えるのも楽しみです。



講師　神永直美先生

事例研究会

「子どもを知り、理解することから始まる支援を学んで」認定こども園　双葉幼稚園　瀬下　陽子

今年度最初の事例研は、インシデントプロセス法による事例研究を行い、支援について考えました。

自分では気付かなかった問題点や支援の手立てを知り、子どもの得意なことや好きなことを理解した上でその子に合った支援を考える大切さを学びました。

7月23日（木）は、酒井康年先生の「感覚統合の視点から支援を考える」を受講しました。子どもの行動の背景を理解することで見え方や対応が変わることを学び、目的やゴールを意識し、保育者本位にならないことの大切さを感じました。

翌24日（金）には、Bring upちば子ども発達センター、千葉市療育センター、ふたば保育園を見学し、施設ごとの役割や支援内容を知り、連携の重要性を特に感じました。改装した療育センターでは実際の環境や利用までの流れを知ることで、保護者への説明にも生かせると感じました。

研修を通して子どもを知り理解することの大切さを再認識し、今後も一人ひとりの姿や背景を丁寧に理解しその子に合った支援を保育に生かしていきたいと思いました。



リニューアルされた療育センター

全体研修会

「これからの保育がめざすこと」

認定こども園　ひまわり幼稚園　竹内　久美

乳幼児教育実践研究家の井桁容子先生を講師にお迎えして「生きる力・関わる力が育つ保育」というテーマでお話をいただきました。

何が起こるか予測できないこれからの時代には、これまでのように「みんな同じ」「言われたことをやればよい」というのでは、生き残っていけません。自分自身で柔軟に考え、相手と折り合いを付けながら、問題を解決していこうとする力が問われます。私たちは「個々の違いを無くすこと」に尽力するのではなく「違いがあるからこそ、それぞれの得意を生かして補い合えるのだ」と考える必要があります。違いによって人が排除されない社会を作っていかなければならない、とのお話でした。

保育者として「今までこれでやってきたからこのままでよし」とするのではなく、物事は常に変化しているのだから「知っている」と思い込まずに、学び続けていかなければならないと、強く感じました。



乳幼児教育実践研究家
井桁 容子先生

保育室の窓から



豊かな自然の中で

聖母マリア幼稚園　金坂　菜々香

豊かな自然が魅力の一つである聖母マリア幼稚園。子どもたちは自然と触れ合いながら伸び伸びと遊んでいます。昨年10月、園の敷地内にある大きな広場に全園児で遠足に行きました。おやつとお弁当を持って行くと普段とは違い特別な気分…♪

年中長の子どもたちが年少の子どもたちと手をつなぎ、林の中をお散歩しながら広場に向かいました。子どもにとっては森の探検！上を見上げると大きな松ぼっくりの木が子どもたちを見下ろすように生えています。道の途中でキノコやどんぐりを見つけます。子どもたちはキラキラした目でさまざまなものを発見していました。広場に到着し遊んでいると突然の大雨！でもそんな天気も楽しめる子どもたちは雨宿りしながら林の中でシュロの葉を見つけ傘にしていました。



春から夏にかけて虫や動物も顔を出す豊かな自然を見て、触って、工夫して遊ぶ子どもたちの力を大切にし一緒に楽しみます！

私の好きな絵本

「こんとあき」
作：林明子
出版社：福音館

こんとあきがお互いを思いやりながら、困難を乗り越えていくところが好きです。

こんが電車の扉に挟まれてしまい、どきどきする場面もありますが、2人の旅を通して、ワクワクして、物語に入り込めるところも好きです。

透明なスライム

真砂第一幼稚園　大山　まゆみ

夏になると毎年スライムあそびをします。透明なガラスのボウルに入れた洗濯のりと水の中に魔法の水（食紅とホウ砂水）を入れて赤く透き通ったスライムができると「わぁーっ！」「きれい！」「なんで？まほう？」と子どもたちから歓声が上がります。



できたスライムにおそるおそる触れて「むにゅむにゅ」「ぺたぺた」「びよーん」と伸ばしたり、丸めたり、指の間からこぼれる感触を楽しんだりと子どもたちは夢中です。薄く伸ばしたスライムをのぞきこみ「むこうが見える！明日のむこう」（？？？）と子どもの声。透明なスライムを通した向こうにはいったい何が見えているのでしょうか。

夏の日の保育室での一コマです。

きっと先生にはガラスボウルの向こうに好奇心でいっぱいの子どもたちのキラキラした目が見えているのでしょう。そして子どもたちには透明なスライムの向こうに、キラキラした未来が見えているのかもしれません。

私の好きな絵本

「100 万回生きたねこ」
作・絵：佐野洋子
出版社：講談社

100万回生きたねこが白いねこと出会い初めて愛することを知るお話です。

生きるって何だろう。読む人それぞれが自分の生き方や大切な人について考えるきっかけになる本です。

私の人生のバイブルです。

ひろがる世界

花園幼稚園　中野　瑠璃

2歳児クラスのたんぽぽ組は5月から新年度が始まりました。当初は保護者の方と離れることに不安を感じ、涙する姿もありましたが、今ではお気に入りの遊びを見つけて楽しんでいます。友だちへの興味も芽生え、同じ遊びを楽しんだり笑い合ったりする姿が見られるようになりました。

しゃぼん玉遊びでは、たくさんのしゃぼん玉が飛び出すと歓声をあげたり手を伸ばしたりして喜ぶ子どもたち。「自分でもやってみたい」と息を吹きかけようと挑戦する微笑ましい姿も見られました。大きなしゃぼん玉が風に乗って飛んでいくと追いかけ、夢中になって遊んでいました。



園庭では年上の子どもたちが声をかけてくれ、一緒に三輪車に乗ったり、虫や木の実など自然物探しをしたりしながら、さまざまな刺激を受けています。これからも一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

私の好きな絵本

「ももいろのきりん」
作：中川李枝子
出版社：福音館

桃色のキリカ、クレヨンの木や色とりどりの動物たちなど、色の使い方が印象的で美しい作品です。子どもの想像から生まれた世界がのびのびと自由で、その世界に入り込める、子どもの頃何度も読んだ大好きな一冊です。

職員の異動

千葉市の幼児教育のためにともに働いた先生方とのお別れは、さみしさを感じずにはいられません。先生方のよき模範にならい、これからも幼児教育に努めてまいります。
また、新たに出会えた先生方、こどもたちの笑顔を守るため、一緒にがんばっていきましょう。よろしくお願いします。

区	園　　名	退職（退任）された理事長	新理事長
中央	院内幼稚園	若王子　徳次朗先生	若王子　栄先生
美浜	こざくら第二幼稚園	江尻　千里先生（R7.8.9逝去）	江尻　一貴先生
緑	こざくら幼稚園		

区	園　　名	退職（退任）された園長	新園長
中央	こまどり幼稚園	齊藤　光正先生	土橋　真理子先生
中央	認定こども園　葵幼稚園	上野　洋子先生	武田　明子先生
稲毛	認定こども園　土岐幼稚園	藤巻　直子先生	藤代　茂雄先生
若葉	大宮幼稚園	荒田　和代先生	御園　雅代先生
若葉	泉幼稚園	丹野　禧子先生	中村　寛人先生
緑	認定こども園　ほまれ幼稚園	西郡　悠輔先生	西郡　直子先生

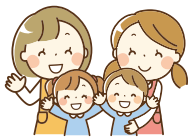
千葉市幼稚園協会からお知らせ

「幼稚園&こども園ガイド」を発行しました!

当協会では、園選びに役立つ情報を発信・提供しています。市内の公共施設にて閲覧できるほか、公式HPにてWEB版も公開中です。

加盟園の紹介動画を公開中!

各園の特色や、日常の保育の様子を動画にてご覧いただけます。



幼稚園・認定こども園等で働きたい方をサポートします!!

千葉市幼稚園協会HPの「求職者登録フォーム」よりご登録ください。
資格をお持ちでない方もお気軽にご相談ください。

最新情報は公式HPおよび公式Xで配信中!

詳しい情報や最新のイベント案内は、当協会HPや公式Xをぜひご覧ください。

協会ホームページはこちらから

公式Xフォローお願いします（@youchien_chiba）

編集後記

令和8年度も半年が過ぎました。入園当初は不安で泣いていた子どもも、今ではニコニコ笑顔で「おはようございます!」と元気に登園してきます。園生活を通して日々成長していく子どもたちの姿を見ながら、子どもたちには無限の可能性があるということを強く感じているこの頃です。

今年度も幼稚園＆こども園フェアを開催し、多くの方に参加していただくことができました。無事に終わってほっとしたのも束の間、千葉県では8月の豪雨や雷雨などの自然災害に加え季節を問わないインフルエンザや新型コロナウイルスの感染者の増加等、大変なことがありました。そんな時にも関わらず原稿を執筆してくださいました皆様に心より感謝申し上げます。

さて、本号では防災についての特集や幼稚園協会主催のフェアや研修会について掲載しています。保護者の皆様には、防災について今一度考え、幼稚園やこども園について知っていただけると幸いです。また、今後もより良い幼児教育のために努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

広報委員会では、今後も皆様に楽しく読んでいただけるよう精一杯取り組んでまいります。ご意見・ご感想等ありましたら、お寄せください。

千城台南幼稚園　宮原　直美

公益社団法人 千葉市幼稚園協会加盟園

羔幼稚園
翠幼稚園
認定こども園 双葉幼稚園
認定こども園 稲毛すみれ幼稚園
認定こども園 登戸幼稚園
認定こども園 ひまわり幼稚園
千葉文化幼稚園
認定こども園 弥生幼稚園
愛隣幼稚園
幼保連携型 認定こども園 はまの幼稚園
穴川花園幼稚園
認定こども園 松ヶ丘幼稚園
認定こども園 大巌寺幼稚園
大宮幼稚園
認定こども園 梅乃園幼稚園
幼保連携型 認定こども園 白梅幼稚園
認定こども園 稲毛幼稚園
認定こども園 仁戸名幼稚園
九重幼稚園
認定こども園 小ばと幼稚園
泉幼稚園

こまどり幼稚園
認定こども園 都幼稚園
認定こども園 園生幼稚園
みのり認定こども園
花園幼稚園
聖母マリア幼稚園
認定こども園 あやめ台幼稚園
幼保連携型 認定こども園 さざれ幼稚園
認定こども園 千葉明徳短期大学附属幼稚園
認定こども園 葵幼稚園
信徳寺あさひ幼稚園
★認定こども園 花見川ちぐさ幼稚園
由田学園千葉幼稚園
こざくら幼稚園
新検見川幼稚園
認定こども園 ほまれ幼稚園
幼保連携型 認定こども園 しらぎく
認定こども園 土岐幼稚園
認定こども園 千葉さざなみ幼稚園
認定こども園 のぞみ幼稚園

認定こども園 こてはし台幼稚園
認定こども園 青い鳥第二幼稚園
千城台南幼稚園
認定こども園 へいわ幼稚園
幼保連携型 認定こども園 植草学園大学附属弁天こども園
認定こども園 子鹿幼稚園
認定こども園 高洲幼稚園
幼保連携型 認定こども園 千葉女子専門学校附属聖こども園
認定こども園 敬愛短期大学附属幼稚園
認定こども園 さつきが丘幼稚園
暁幼稚園
認定こども園 真砂幼稚園
認定こども園 土気中央幼稚園
千城東幼稚園
加曽利幼稚園
こざくら第二幼稚園
ひばり幼稚園
真砂第一幼稚園
認定こども園 高浜幼稚園
やまびこ幼稚園

あやめ台第二幼稚園
若松台幼稚園
山百合幼稚園
認定こども園 みつわ台幼稚園
千葉聖心幼稚園
小中台幼稚園
認定こども園 鏡戸幼稚園
認定こども園 山王幼稚園
スガハラ幼稚園
都賀の台幼稚園
磯辺白百合幼稚園
城徳学園いそべ幼稚園
院内幼稚園
めぐみ幼稚園
幼保連携型 認定こども園 キッズビレッジ
花水木幼稚園
認定こども園 あすみ中央幼稚園
幕張インターナショナルスクール幼稚園

（設立順）

★令和8年6月、(認)花見川ちぐさ幼稚園が新たに加盟しました。

特別会員

学校法人植草学園
学校法人千葉経済学園 千葉経済大学短期大学部
淑徳大学
学校法人千葉明徳学園
敬愛短期大学
千葉女子専門学校

賛助会員

㈱バード・アイ（チーバくんと遊ぼう）
一般財団法人 ヤマハ音楽振興会

㈱チャイルド本社
ワタナベメディアプロダクツ㈱
東海建設㈱
㈱ACN東京
㈱幼稚園給食

㈱サンワールド
千㈱
㈱マザー牧場
㈱菊地商事
㈱ジャクパ
㈱そごう・西武 そごう千葉店
三菱ふそうトラック・バス㈱ 南関東ふそう 千葉支店
㈱ライフィック
Step Up Nursery
㈱ニシハタシステム
メシウス㈱

㈱アイドル
伊藤忠オリコ保険サービス㈱
スタジオ ビッグベル
テレネットジャパン㈱
㈱ライムグラフィック
㈱アトラボ
クルーサポート㈱
セブンイレブン 千葉高洲1丁目店
東洋観光㈱
阿部建設㈱
㈱桑田建築設計事務所
千葉信用金庫 白旗支店
藤間㈱
石川造園
㈱こどものとも
㈲千葉美術アカデミー
㈱矢部プロカッティング

千葉県保育教材業者会
㈱ジャクエツ・㈱チャイルド本社・㈱ワンダー関東・㈱フレーベル館・ひかりのくに㈱・㈱こどものとも